

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第5学年 第6学年	英語・501 英語・502 英語・601	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 名前や好きなもの・ことなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 中学校生活や将来の夢など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、夢宣言カードなどの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 色、スポーツ、食べものについて、それぞれ何が好きかをたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 中学校で入りたい部活動をたずねたり、将来なりたい職業をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 時間割や好きな行事など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 小学校の思い出や夢に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Unit 4において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達へのインタビューをしたり、紹介カード作りをしたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Unit 2において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、宝物紹介カードを作ったり、自分の宝物を紹介したりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、名刺やバースデーカードを交換したり、「身近な人紹介カード」を作成したりするなどの活動をした後に、日本の四季ポストカードを作成し、日本のことを紹介する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習でき</p>				

	<p>るような工夫</p> <p>第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，自分についてスピーチをしたり，宝物を伝え合ったりするなどの活動をした後に，夏休みの思い出や小学校の思い出のアルバムを紹介する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第5学年～ 総ユニット数は8ユニット，総ページ数は96ページとなっている。（判型はA4判）</p> <p>第6学年～ 総ユニット数は8ユニット，総ページ数は96ページとなっている。（判型はA4判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 「Let's Chant」や「Let's Sing」を取り上げたり（全学年）、「Small Talk」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Unitの冒頭に「Our Goal」を設けたり（全学年），巻末の「コミュニケーションカード」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，第5学年の「Open the door 2『地域のことを紹介しよう』（Unit 4～6）」で身近な人の紹介，オリジナルタウンの道案内やふるさとメニューを注文する活動を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書にQRコードが付いており，英語の音声や活動の手順，海外情報の映像，歌やチャンツ，発音の口形動画などを視聴することができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，Picture Dictionaryにおいて中学校の学習にも配慮して選定された語彙が収載されており，振り返るための絵辞書として活用し続けることができ，小学校で学んだことが中学校の学習に活用されるような配慮がなされている。</p>
本市児童の 学習の状況等	<p>○ 目的，場面，状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，音声から文字への流れを重視しつつ，コミュニケーションカードを作成するなどして，主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するように工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，各単元末には，児童が自ら読み進められるように，異文化情報が掲載されている。</p>
その他	<p>○ 指導者への配慮については，4線ノートや音声指導用の特設ページを鉛筆で書きやすい特殊な用紙で綴じ込み，追加のワークシートがなくても指導できる工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第5学年 第6学年	英語・503 英語・603	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 日付や誕生日など、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 部活動や学校行事など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、夏休みの思い出などの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 友達に好きな季節をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 中学生になったらがんばりたい部活動をたずねたり、なりたい職業とその理由をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 月・日付や時間割など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 学校行事や将来の夢に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 感謝の手紙などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Lesson 1において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、名刺カードを作ったり、自己紹介をして名刺交換したりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Lesson 4において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本のことを紹介する文を完成させたり、日本のことを紹介するカードを作ったりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、自己紹介をして名刺交換をしたり、友達の誕生日をたずねてクラスの誕生日ポスターを作成したりするなどの活動をした後に、あこがれの人や自分の町を紹介する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できる</p>				

	<p>ような工夫</p> <p>第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，友達との共通点を探したり，自分の一日を紹介したりするなどの活動をした後に，将来の夢や中学校でしたいことを発表する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第5学年～ 総ユニット数は9ユニット，総ページ数は119ページとなっている。（判型はA B判） 第6学年～ 総ユニット数は11ユニット，総ページ数は127ページとなっている。（判型はA B判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 「Let's Sing」や「Let's Chant」を取り上げたり（全学年），「Let's Try」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 表紙裏に「CAN-DO マップ」を設けたり（全学年），Lessonの最後に「ふりかえりをしよう」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，第5学年の「Lesson 9 『I love my town.』」の自分の町紹介で，自分が住む地域の名産物や自然を紹介する活動を扱っている。また，「Let's Listen 3」では，Mt. Taisetsuを取り上げている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書にQRコードが付いており，授業で用いる映像を視聴したり，ゲームのコンテンツを活用したりすることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，中学校の「読むこと」「書くこと」にスムーズに移行できるよう，各学年に「文字に慣れよう」を，また，中学校の学習イメージがもてるよう，第6学年の巻末に「中学校へつなげよう」という特設コーナーを展開するなどの工夫がなされている。</p>
本市児童の 学習の状況等	<p>○ 目的，場面，状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，自然で身近な場面を設定し，必要な表現を伝え合う配慮がなされるとともに，英語を用いてコミュニケーションを行う楽しさを実感できる工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，他教科との横断的な学習ができる活動の工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 指導者への配慮については，各単元と対応する巻末の「文字に慣れよう」のコーナーを柔軟に組み合わせて授業ができる工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		11・学図	第5学年 第6学年	英語・504 英語・604	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 JUNIOR TOTAL ENGLISH 2
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自己紹介や持っているものなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 中学校生活や部活動など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校生活に向けた思いを発表する文などの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 友達を紹介したり、入りたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自己紹介や今の気分など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 好きな人物や中学校生活に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 中学校生活に向けた思いなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Lesson 7において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、誕生日をたずねたり、誕生日にほしいものをたずねたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Lesson 6において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、道をたずねたり、観光で行くとしたらどこに行きたいかをたずね合ったりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、好きな教科やスポーツをたずねて自己紹介をしたり、ものの数や値段を伝え合ったりするなどの活動をした後に、誕生日やほしいものを伝え合う内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>				

	<p>第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，日本の祭りについてたずねたり，夏休みの思い出を伝えたりするなどの活動をした後に，小学校の思い出として楽しかったことなどを伝え合う内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第5学年～ 総ユニット数は10ユニット，総ページ数は157ページとなっている。（判型はA4判） 第6学年～ 総ユニット数は10ユニット，総ページ数は153ページとなっている。（判型はA4判）</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「Songs for Lessons」を取り上げたり（全学年），「Use & Check」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Lessonの冒頭に「レッスンの目標」を設けたり（全学年），Lessonの最後に「Check Time」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，第6学年の「Lesson 5『We have a big park.』」で，自分が住む地域のよさを伝えたり，日本各地を紹介したりする活動を扱っている。また，第6学年の裏見返し「英語で発表できるようになったよ！」で「さっぽろ雪まつり」を取り上げている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書にQRコードが付いており，クラスルーム・イングリッシュや目標文を聞くことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，レッスン毎にAlphabet Cornerを設定し，アルファベットの読み書きが定着し，スムーズに中学校へ移行できるよう配慮がなされている。また，第6学年の「Lesson10『What club do you want to join?』」では，中学校生活について扱う配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的，場面，状況等に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，教科書の中に登場するクラスメートと一緒に，身近なテーマに沿って，英語を使うよう工夫がなされている。また，年間2回のProject Timeでは，それまで学んだ表現を用いてプレゼンテーションを行う工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，様々な状況・場面が描かれている1枚絵を使用し，実際にありそうな世界を示したり，他教科の学習や異文化理解へつなげたりするようアクティビティやコラムを活用するなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 指導者への配慮については，インタビューなどのアクティビティ1つを15分の目安で展開できるよう工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		15・三省堂	第5学年 第6学年	英語・505 英語・605	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 持ちものやできることなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 日本の文化ややってみたい活動など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、本の表紙などの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自分の持っているものを伝えたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 正月やお祭りについて伝えたり、自分のプロフィールを伝えたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自己紹介やおすすめの場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 日本の行事や夏休みの思い出に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Lesson 1において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の好きな食べものや飲みものを伝え合ったり、自分の誕生日にほしいものを伝え合ったりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Lesson 4において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、夏休みにどこに行ったかを伝え合ったり、週末に楽しんだことを伝え合ったりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において、学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、持っているものやできることをたずねて自己紹介をしたり、友達や家族の紹介をしたりするなどの活動をした後に、先生にインタビューをして先生を紹介する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるよ</p>				

	<p>うな工夫</p> <p>第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，学校を紹介したり夏休みにしたことやものの様子や特徴を説明したりするなどの活動をした後に，小学校での思い出を紹介する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第5学年～ 総ユニット数は10ユニット，総ページ数は128ページとなっている。（判型はA B判） 第6学年～ 総ユニット数は10ユニット，総ページ数は128ページとなっている。（判型はA B判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 「Sound Chant」や「Word Chant」を取り上げたり（全学年），「Talk to Friends」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に「CAN-DO リスト」を設けたり（全学年），「Words & Phrases」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，第6学年の「Lesson 2 『We have Children's Day in May.』」において自分たちの町にある施設や店の紹介したり，第6学年の「Presentation 1 『This is our school.』」において学校行事を紹介したりする活動を扱っている。また，「さっぽろ雪まつり」や雪景色の写真等を取り上げている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書にQRコードが付いており，授業で学習する語句や表現の音声を聞くことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，プロジェクト型の言語活動につながるよう，習得したことを活用する場面のJUMPの活動を工夫し，スムーズに中学校へ移行できるよう配慮がなされている。</p>
本市児童の 学習の状況等	<p>○ 目的，場面，状況等に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，学びのプロセスを「見える化」し，HOP（学びの見通しを立てる）～STEP（基礎・基本を習得する）～JUMP（習得したものを活用する）を1ユニットとする工夫がなされている。特に，JUMPの段階では，グループで協働的に活動し，互いに学び合う工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，児童が共感できるストーリー性のある題材が選ばれるとともに，「必然性」を大切に場面を設定する配慮がなされている。</p>
その他	<p>○ 指導者への配慮については，小単元ごとにねらいが示され，目標が分かりやすくなっている。また，各小単元の構成が一定で，学習の流れが分かりやすい工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第5学年 第6学年	英語・506 英語・606	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きなものや嫌いなものなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 中学校の学校行事や1日の生活など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でしたいことの文などの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きなものをたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 入りたい部活動をたずねたり、楽しみたい学校行事をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きなものやほしいものなど、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ スポーツ選手や中学校生活に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Lesson 7において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ほしいものを聞いて注文を完成させたり、オリジナル・メニューを考えたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Lesson 8において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、つきたい職業についてたずね合ったり、その理由をたずね合ったりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、起床時刻をたずねたり、自分の得意なことを伝えたりするなどの活動をした後に、オリジナルメニューを使って、レストランのロールプレイをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明した</p>				

	<p>り，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，自分の町にあるおすすめの場所についてたずね合ったり，夏休みの思い出について伝え合ったりするなどの活動をした後に，中学校でしたいことを発表する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第5学年～ 総ユニット数は9ユニット，総ページ数は118ページとなっている。（判型はA B判） 第6学年～ 総ユニット数は9ユニット，総ページ数は112ページとなっている。（判型はA B判）</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「Let's Say It Together」や「Let's Sing」を取り上げたり（全学年），「Activity」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Lessonの最後に「ふりかえろう」を設けたり（全学年），巻末に「My Word Bank」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，第6学年の「Lesson 2『My town is beautiful.』」で自分たちの住む町のおすすめの場所や自然を紹介する活動を扱っている。また，第5学年の「Lesson 6『Where do you want to go?』」では，名所・名物マップにAsahiyama Zooを取り上げている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書の目次にQRコードが付いており，授業で用いる音声や動画を視聴することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，中学校での学習へつながる活動を配置したり，2年間で学んだことを「My Book」にまとめる活動をしたりして，中学校1年生の授業に役立つ配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的，場面，状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，学習した語句・表現などを実際に活用した，コミュニケーション活動が各Lesson毎の最後のActivityに設定されている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，世界の行事や学校生活，料理など，さまざまな文化への関心や理解が深まる教材を扱う工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 指導者への配慮については，指導のイメージがつかみやすいように，誌面に活動の様子を表現した分かりやすいイラストを使用している。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			38・光村	第5学年 第6学年	英語・507 英語・607
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 名前や好きなものなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 将来の夢や中学校でしたいことなど、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でがんばりたいことを発表する文などの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ どんなものが好きかをたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 入りたい部活動をたずねたり、がんばりたい教科をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 時間割や家でする手伝いなど、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 中学校でしたいことや将来に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Unit 8において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、どこに何があるかを伝え合ったり、道案内をしたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Unit 7において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、思い出に残る行事を伝え合ったり、その理由を伝えたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、誕生日をたずね合ったり、紹介したい国を選び、その国のよいところを調べてクイズを出し合ったりするなどの活動をした後に、自分たちが考えた町の道案内をする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習でき</p>				

	<p>るような工夫</p> <p>第 6 学年～ 第 5 学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，友達と夏休みの思い出をインタビューし合ったり，自分たちの町のよいところを紹介したりするなどの活動をした後に，中学校でがんばりたいことを発表する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第 5 学年～ 総ユニット数は 9 ユニット，総ページ数は 140 ページとなっている。（判型は A B 判） 第 6 学年～ 総ユニット数は 9 ユニット，総ページ数は 144 ページとなっている。（判型は A B 判）</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「Let's chant.」や「英語の歌」を取り上げたり（全学年），「You can do it!」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の冒頭に「CAN-DO」を設けたり（全学年），Lesson の最後に「ふりかえろう」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，第 6 学年の「Unit 6 『This is my town.』」において，自分たちの町にある施設やそこでできることの紹介をしたり，第 6 学年の「Unit 7 『My Best Memory.』」において，学校行事を紹介したりする活動を扱っている。また，「さっぽろ雪まつり」や北海道地図等を取り上げている。</p> <p>○ ICT の活用については，教科書に QR コードが付いており，授業で用いる音声や動画などを視聴することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，「中学校に向けて」のページを設定し，中学校での学習への見通しをもたせたり，目標を設定させたりするような工夫がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的，場面，状況等に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，相手の答えを予想してから質問したり，伝える順番を考えてから発表したりするなどの工夫がなされている。また，相づちや聞き返す表現を繰り返し練習し，相手意識が育まれるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，世界 12 か国で実際に生活する小学生のメッセージを音声と映像で紹介し，多様な文化や価値観に触れられる配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 指導者への配慮については，単元のゴールまでの流れが単元最初の扉絵に見える Unit 構成となっており，本時の活動が単元の中で，どこに位置付けられている活動なのか把握できる工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		61・啓林館	第5学年 第6学年	英語・508 英語・608	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日やほしいものなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結び付ける活動 第6学年～ 中学校の行事や学校生活など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、円グラフなどの中から識別する活動</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 友達の誕生日をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動 第6学年～ 将来つきたい職業をたずねたり、やってみたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自分の名前や好きなものなど、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 将来の夢や中学校でやってみたいことに関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動 第6学年～ 中学校でやってみたいことなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ Unit 7において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、店の場所を伝えたり、友達の家までの道案内をしたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ Unit 6において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、思い出の学校行事ランキングを作成したり、学校行事でしたことを書いたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ 外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、友達の好きな教科をたずねたり、自分の行きたい国に友達を誘ったりするなどの活動をした後に、自分の食べてみたいオリジナルランチを考えて発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>				

	<p>第6学年～ 第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり，アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ，自分の好きなものを伝えたり，自分が住む都道府県を紹介したりするなどの活動をした後に，自分の住む地域のよさなどを発表する内容を扱うなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第5学年～ 総ユニット数は9ユニット，総ページ数は136ページとなっている。（判型はA B判） 第6学年～ 総ユニット数は9ユニット，総ページ数は136ページとなっている。（判型はA B判）</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「Jingle」や「Chant」を取り上げたり（全学年），「Activity」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Lessonの冒頭に「GOAL」を設けたり（全学年），Lessonの最後に「Looking Back」を設けたり（全学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，第6学年の「Unit 3 『I want a big park in my town.』」において自分の住む地域の良さや理想を考えて発表したり，第6学年の「Unit 6 『I enjoyed school.』」において小学校の思い出を発表したりする活動を扱っている。また，「さっぽろ雪まつり」のイラストを取り上げている。</p> <p>○ ICTの活用については，教科書にQRコードが付いており，授業で用いる音声や動画などを視聴することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携による指導については，第6学年の最後の単元に中学校生活を題材に取り上げ，児童が小学校生活との違いを英語の活動を通して意識できるような工夫がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的，場面，状況等に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，Part末のActivityでは，ペアワークやグループワークを多く設定する工夫がなされている。また，各学期末のREVIEWでは，場面や状況に応じて児童自身が考え，判断する工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，Unit末では，異文化理解や他教科に関連する題材などを取り上げる配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 指導者への配慮については，1 Unitを3 Partに区切ったり，活動や演習を授業の流れに沿って誌面に配置したりする工夫がなされている。</p>